

NEWS RELEASE

三重大学アカデミックフェア 2024 開催のご案内

三重大学では、下記のとおり 11 月 24 日に「三重大学アカデミックフェア 2024」を開催します。アカデミックフェアは本学学生等の学習成果や研究成果、地域連携や高大連携、支援活動等の実践、課外活動の成果について、学内外の方々に広く伝える機会として、毎年開催しております。「特別シンポジウム」と「研究発表」の 2 部構成となっており、特別シンポジウムでは、学生が『知の探求：研究における発見と創造の喜びを共有しよう！』をテーマとして語り合い、研究発表では研究活動や学修の成果発表を行います。

是非ともご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 : 2024 年 11 月 24 日(日)10:00~15:30
第1部 10:10~11:35 特別シンポジウム
第2部 13:00~14:50 個別研究発表

場 所 : 三重大学講堂(三翠ホール)
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

資料等 : 別紙参照

【本件に関するお問い合わせ先】

三重大学アカデミックフェア 2024 実行委員会
TEL:059-231-9903

学習・研究・実践成果発表

三重大学 アカデミックフェア2024 開催のご案内

日時

2024年11月24日 (Sun)

10:00~15:30

(受付: 9:30~)



会場

三重大学講堂

参加申込方法



参加をご希望の場合は、
左のQRコードを読み取るか、
「三重大学アカデミックフェア
2024」とインターネットで検索
していただき、
専用サイトの参加申込ページに
てお申し込みください。

第1部 10:10~11:35

6研究科代表による研究発表・シンポジウム
知の探求: 研究における発見と創造の喜びを共有しよう! 【場所: 大ホール】

各学部に所属する学部生や大学院生の方々に、ご自身の研究や関心を披露していただき、フロアも交えながら学際的な知の探求についてディスカッションをしていきます。

第2部 13:00~14:50

個別研究発表
【場所: 小ホール・ホワイエ】

研究活動や学習活動の成果について、学生が研究・学習発表を行います。

お問い合わせ

三重大学アカデミックフェア2024
実行委員会 (担当: 風間)

TEL: 059-231-9903
MAIL: kazama.sansui@mie-u.ac.jp

発表タイトル一覧

6研究科代表による研究発表・特別シンポジウム 『研究における発見と創造の喜びを共有しよう!』

No.	所属	学年	タイトル
1	人文社会科学研究科	修士2年	1990年代中国の「個人化写作」言説 ―陳染を中心に―
2	教育学研究科	修士2年	小学校国語科における動物文学の教材価値に関する研究
3	医学系研究科	修士1年	吃逆(しゃっくり)を止めるストローについての研究
4	工学研究科	修士2年	特殊鋼線材用焼鈍炉を対象としたヒートパターン設計システムの開発
5	生物資源学研究科	修士2年	脱炭素社会の実現を目指して ～私のGX戦略～
6	地域イノベーション学研究科	修士2年	地域の食と農を世界へ ―農業の新たな可能性―

個別研究発表

ポスター発表

No.	所属	学年	タイトル	No.	所属	学年	タイトル
1	教育学研究科	修士2年	小学校国語科における思考ツールの活用に関する研究 ―文学的な文章の授業を中心に―	30	医学部	3年	ICU入室患者の家族の不安・不満の抽出―文献検討からの抽出―
2	教育学研究科	修士1年	高校古典の新たな授業のあり方	31	工学研究科	修士1年	円筒座標系をベースとするスカラ型音響FDTD法におけるPMLの実装
3	教育学研究科	修士1年	小学校国語科における文学の授業ではいかなる問いが求められるのか	32	工学研究科	修士1年	機械学習を用いた人工衛星データの超解像
4	教育学研究科	修士2年	情報化社会における中学校社会科の論争問題学習の成立に向けて ―フィルターバブルやエコーチェンバーを題材とした社会科授業実践を例に―	33	工学研究科	修士1年	写真測量による三次元計測の高精度化
5	教育学研究科	修士1年	正比例関数を中心にした関数指導 ～量の視覚化と小・中・高等学校の接続を重視した授業実践～	34	工学研究科	修士1年	「ホール」における客席配置に関する研究
6	教育学研究科	修士2年	子どもの自律的な学びを引き出す授業実践 ―モンテッソーリ教育の環境整備と自己選択を手がかりとして―	35	工学研究科	修士1年	脳性麻痺者のギター演奏支援装置の押圧カバの改良
7	教育学研究科	修士1年	「自分自身を大切にする授業の実践」 ―認知行動療法の考え方を活かして自分自身をケアする力を養う―	36	工学研究科	修士2年	二次元層状物質の理論的予測とスピントロニクス応用
8	教育学研究科	修士2年	初等教育における「流れる水の働き」の概念形成に関わるカリキュラムの開発	37	工学研究科	修士1年	原子分解能元素分析に向けた電界イオン顕微鏡試料の電界強度計算
9	教育学部	2,3年	エネルギー教育に関する調査研究と教材開発	38	工学研究科	修士2年	「界面科学で創る」:豊かで快適な社会に導く新素材
10	教育学部	2年	超常現象の信じやすさと主観的幸福度の関係	39	工学研究科	博士1年	培養細胞を原料とする巨大リン脂質ベシクル調製法の開発
11	教育学部	2年	失恋時に聴く音楽と性格の関連性	40	生物資源学部	4年	有機水稻栽培を成立させる水管理技術
12	教育学部	4年	保育における「味わう」と「感じる」―KH Coderによる記述回答の分析―	41	生物資源学部	4年	木の化学 リグニン―化石資源の代替に向けて―
13	教育学部	4年	子どもはデジタルペットをどう認識するのか―実体と仮想実体を比較して―	42	生物資源学部	4年	紅茶粕がインビトロルーメン培養系における発酵様相及びメタン生成に及ぼす影響
14	教育学部	4年	足関節の底屈動作を抑制する補助具が短距離走における回復脚動作に及ぼす影響	43	生物資源学部	4年	光を使って鶏卵ヒナの性別をふ化前に予測する
15	教育学部	4年	敬和小学校と一身田中学校における教育支援活動	44	生物資源学部	4年	イネ生育過程における湛水土中の表面酸化層の微視的観察
16	医学系研究科	修士1年	Long-term Residential Exposure in Sunny Areas and Acute Myocardial Infarction Mortality: A Spatial Epidemiological Study in Japan (日本における長期日光曝露と急性心筋梗塞死亡:空間疫学研究)	45	生物資源学研究科	修士1年	カフェ酸を部分構造に持つγ-oryzanol類縁体の標準物質の合成
17	医学部	4年	ドキソルビシンの心臓間葉系前駆細胞分化への影響	46	生物資源学研究科	修士1年	EGCgとEGCの生体機能の違いについて
18	医学部	4年	心筋の拡張障害に対する脱細胞化細胞外マトリックスによる物理特性の影響の検討	47	生物資源学研究科	修士1年	かぼす果皮由来の抗肥満成分の探索
19	医学部	4年	ヒトバラインフルエンザ2型ウイルス(hPIV2)を用いた経鼻噴霧型ワクチンの作製	48	生物資源学部	4年	さかなの病気を微生物で予防する研究 ―養殖魚介類からの体表プロバイオティクスの探索―
20	医学部	4年	医学科学生における共感の発達と医学教育の関連性に関する量的研究 ―質問紙を用いた経年比較による検討―	49	生物資源学部	4年	三重県におけるイセエビの脱皮時期について
21	医学部	4年	マウスモデルを用いたGVHDにおけるドナー細胞の分布と活性化の検討	50	生物資源学研究科	修士1年	地域の自然・生物を活かした野外教育プログラムが与える児童・生徒の郷土に対する意識の変化
22	医学部	4年	Tenascin-C過剰発現は心筋炎を増悪する	51	地域イノベーション学研究科	博士1年	ひらがな支援研究プロジェクト
23	医学部	4年	Convex hullを用いた不整な脳動脈瘤の形態学的考察	52	ピアサポーター学生委員会	1,2年	三重大学ピアサポーター学生委員会 2024年度活動紹介
24	医学部	4年	パーキンソン病患者における黒質・青斑核の体積測定と有用性、ならびに重症度との相関	53	松阪高校 普通科	2年	チョークの色と炭素の含有量の関係性
25	医学部	4年	小胞体ストレス下でのRNF213抑制による発現変動タンパク質の解析	54	松阪高校 普通科	3年	過飽和実験の成功率向上について
26	医学部	4年	神経ペプチド・マンセリンに着目したラット脳分界条床核におけるストレス応答機構の解明	55	上野高校 理数科	2年	上野城に生育する雑種タンボの割合
27	医学部	4年	自閉症と行動の関係性に関する文献的研究	56	上野高校 理数科	3年	上野城の植生の現状調査
28	医学部	4年	神経発達症モデルゼブラフィッシュの表現型解析による治療薬探索	57	桑名高校 普通科	2年	過冷却状態から凝固する際の条件について
29	医学部	3年	ガーナにおける医療の実態	58	桑名高校 理数科	2年	マルコフ連鎖を用いたOERAによる打者の評価

パワーポイント発表

No.	所属	学年	タイトル	No.	所属	学年	タイトル
1	人文学部	3年	ふるさと納税制度における自治体と事業者の関係性構築に関する考察	5	人文学部	3年	伊賀市における中心市街地活性化の課題―回遊性の実現に向けて―
2	人文社会科学研究科	3年	近代日本における地域工業化 ―知多市岡田町を中心とする綿織物業発展の考察―	6	人文学部	3年	フィンテックの意義と限界～金融包摂を巡って～
3	人文学部	3年	漁業と観光業による地域おこしの限界	7	人文学部	3年	円高・物価高の日本経済と金融政策の在り方
4	人文学部	3年	桑名市ふるさと納税:市のブランドカアップに向けて	8	人文学部	4年	地域創生における地域金融機関の役割